

NPO法人尾道空き家再生プロジェクト

〒722-0031 尾道市三軒家町 3-23

☎ 080-6323-9921

mail@onomichisaisei.com

http://www.onomichisaisei.com



・活動対象地域：広島県尾道市旧市街

・組織の概要

設立年：2007年（2008年よりNPO）

メンバー数：207人（2015.12月現在）

- ・**ミッション**：尾道は古くからの港町として有名ですが、時代の流れによって駅前や港湾は開発され、古い歴史の面影は失われつつあります。その一方、車の入らない斜面地や路地裏は時代に取り残されたように古い家並みが残っていますが、不便さゆえに空き家が増え続け、少子高齢化と中心市街地の空洞化の象徴となりつつあります。そんな空き家の再生事業を通して古い町並みの保全と次世代のコミュニティの確立を目的として活動しています。

- ・**活動地域の概要**：坂の町・尾道の独特の景観は映画やCMを

はじめとする様々なメディアで全国、全世界に紹介され、尾道の代名詞のように伝えられていますが、一方では、車中心の社会への変化や核家族化、少子高齢化による中心市街地の空洞化といった現代の社会問題を多く抱えているエリアでもあります。特に深刻なのは、車の入らない斜面地や路地裏などの住宅密集地に増え続ける空き家問題。もともとお寺しかなかった山手と呼ばれる尾道三山の陽当たりのよい高台に、当時の豪商達がこぞって「茶園」と呼ばれる別荘住宅を建て始めたのが始まりで、その後もハイカラな洋館付き住宅や旅館建築、社宅、長屋など様々な時代の建物が斜面地にへばりつくように密集して建ち並び、まるで「建物の博物館」のようなエリアになっています。それに加え、アップダウンの多い立地に工夫して建てた不定形の建築の面白さと海を見下ろす眺めの良さが、山手の建物をより一層興味深いものにしてしています。

しかしながら、そんな魅力満載の坂の町には、300を超える空き家が存在するという調査結果が出ています。南側以外の斜面や平地の路地裏、商店街の空き店舗なども合わせると駅から2キロという徒歩圏内に500軒近い空き家があるのではないかと推測されます。そしてその多くは長年の放置により廃屋化してきており、立て替えや新築不可能なロケーションにおいて、現存する空き家をいかに上手く活用し、後世に伝えていくかが最重要課題となっているのが現状です。

- ・**これまで行ってきた活動概要**

- 2007年 5月：再生第1号物件「通称尾道ガウディハウス」着工
- 7月：任意団体「尾道空き家再生プロジェクト」発足
- 9月：「尾道空き家談議」開催（以後毎月開催）
- 2008年 3月：「尾道まちづくり発表会」を開催（以降毎年開催）
- 6月：NPO法人格を取得
- 「尾道建築塾」開催開始（以降毎年開催）
- 2009年 2月：「子連れママの井戸端サロン・北村洋品店」完成
- 3月：「空きPress」発行（以降毎年発行）
- 9月：「第1回 尾道空き家再生！夏合宿」開催（以降2年に一度開催）
- 10月：「三軒家アパートメント」始動
- 「尾道市空き家バンク」を事業受託開始
- 2010年 2月：「つるハウス完成」
- 10月：「森の家」完成
- 2011年 6月：「ツタの家」完成
- 9月：「アクアの森の小さな家」完成
- 「光明寺會館」完成
- 11月：「前田荘」完成
- 2012年 1月：「坂の家」「路地の家」完成
- 2月：「ユネスコ未来遺産」に選定
- 12月：尾道ゲストハウス「あなごのねどこ」営業開始
- 2013年 9月：第27回人間力大賞 総務大臣奨励賞受賞
- 11月：「あしたのまち・くらしづくり活動賞」総務大臣賞受賞
- 2014年 1月：「第9回 JTB 交流文化賞」優秀賞受賞
- シェアハウス「うろろじ」完成
- 2015年 1月：平成26年度ふるさとづくり大賞受賞
- 登録文化財「みはらし亭」着工

